

## 令和6年1月 臨時庁議

- 1 開催日時 令和6年1月4日（木）午前9時15分～午前9時55分
- 2 開催場所 4階特別会議室
- 3 付議事項（第6条）

### (1)令和6年能登半島地震に係る石川県七尾市への支援について（市長公室）

本日の臨時庁議は、1月1日に発生した令和6年能登半島地震の被害を受けた親善都市である七尾市等への支援について検討するため、急遽、開催したものである。

同時に、庁議構成者にて「能登半島地震支援対策本部」を立ち上げることにし、本臨時庁議を第1回目の会議とするので、よろしく願います。

#### ①現在の状況について

現時点で七尾市からの具体的な支援の要請はない。国等からの水道・消防・保健師派遣の要請は出ていない。（臨時庁議終了後、県より保健師派遣の要請あり。）石川県のHPでは、現時点でボランティアの募集は行っておらず、支援物資については企業・団体からのまとまった数の物資は内容を精査したうえで受付を行うが、個人からの物資の提供は仕方が手間となるために受付を行っていない。

<防災アドバイザーより>

発災から65時間が経過しており、国のプッシュ型支援により必要な物資は被災地に届き始め、今後は必要以上の物資をさばけなくなることが予想される。被災地支援はいろいろな形があるが、民間でできることは民間に任せて、行政として丸亀市にできることに注力する必要がある。現時点で必要なことは、少数の人員を被災地に派遣し、被災地に寄り添いながら必要な支援を把握することだと考える。

#### ②今後の支援について

##### ・リエゾン（現地情報連絡員）職員の派遣について

七尾市に連絡したうえで、数名の職員を現地に派遣して、情報収集と必要な支援の把握を行う。第一陣は明日に出発できるよう段取りを行う。派遣職員の募集については職員課が担当し、費用については予備費で対応する。

##### ・総合窓口について

七尾市への支援についての総合窓口は秘書政策課とする。報道対応も秘書政策課で行う。被災地の情報については全庁で共有する必要があるため、個別に情報が入った際は秘書政策課に連絡すること。

##### ・義援金の受付について

義援金箱を市内公共施設に設置する。義援金の窓口については財政課とし、義援金の寄附状況等をHPで公表する。義援金口座の設置については過去の事例を調べて報告する。

・ 救援物資の受付について

七尾市の意向を確認し、要請がなければ市民からの救援物資の受付は行わない。企業からの支援の申出については、現状は七尾市の意向を確認している旨を伝え、慎重に対応すること。

(2)各部より補足

【産業文化部】

現地で3千食から4千食分のうどんの炊き出しを実施できる。炊き出しに人員が必要のため、実施する際は応援職員を募る必要がある。

また、次年度のお城まつりのポスターに能登半島への応援文を記載する。全国の丸亀製麺600以上の店舗においても掲示を予定している。(産業文化部長)

【健康福祉部】

避難所運営の支援として保健師の緊急派遣は対応可能である。派遣の際には、職員の拠点確保が重要であり、東日本大震災の際は派遣場所から車で1時間半程度で電気水道が使える地域に宿泊場所を確保していた。(健康福祉部長)

【市長公室】

派遣職員の募集について、期間や場所、業務内容は現時点では未定である。臨時庁議終了後に職員にメールで募集するので、各部での取りまとめをお願いする。(職員課長)

4 出席状況

(1) 庁議構成者(第5条)

職	氏名	出欠
市長	松永 恭二	欠
副市長	横田 拓也	○
教育長	末澤 康彦	○
モーターボート 競走事業管理者	大林 諭	○
市長公室長	栗山 佳子	○
総務部長	七座 武史	○
健康福祉部長	奥村 登士美	○
市民生活部長	田中 壽紀	○
都市整備部長	伊藤 秀俊	○
産業文化部長	林 裕司	○
ボートレース 事業局次長	富士川 貴	○
教育部長	窪田 徹也	○
消防長	浪指 孝章	○
議会事務局長	渡辺 研介	○

(2) 関係職員（第9条）

市長公室職員課長

徳 田 寛

総務部財政課長

高 倉 鋭 悟

市長公室危機管理課長

満 尾 隆 弘

市長公室危機管理課防災アドバイザー

松 村 朝 生

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長

真 鍋 裕 章

市長公室秘書政策課政策マネジメント室長

宇 野 大志郎

市長公室秘書政策課主任

横 井 俊 介

市長公室秘書政策課主任

大 川 智

市長公室秘書政策課主任

安 藤 悠 子